

< 資料提供 >

平成26年8月28日

里山振興室

担当者：西田

内線 4645

外線(076)225-1648

世界農業遺産スタディツアーin 珠洲の実施について

石川県、能登4市5町、関係団体で構成する世界農業遺産活用実行委員会では、平成23年度から、世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力を体験し、学ぶ、スタディツアーを企業の協力を得て実施しています。

11回目となる今回は、ユニー株式会社とともに下記のとおり珠洲市で実施いたします。

記

- 1 日 時 平成26年8月30日（土）8時30分～18時20分
- 2 主 催 ユニー株式会社、世界農業遺産活用実行委員会
- 3 発着地 JR金沢駅西口（大型バス1台で移動）
- 4 行 程
 - （1）能登の自然についての講義
 - （2）能登の食材を用いた昼食
 - （3）禄剛崎灯台の見学
 - （4）揚げ浜式塩田での塩作り見学及び体験
- 5 参加者 親子ペア20組40名（応募36組の中から抽選で決定しました）
- 6 参加費 3,500円／組



今年の夏は珠洲で
世界農業遺産に触れよう



2014
8/30 土

8:20 金沢駅 集合
8:30 バスにて出発
18:20 金沢駅 到着

第5回 アピタ・ピアゴ 世界農業遺産 スタディツアー in 珠洲



学ぶ

●能登半島里山里海 自然学校

赤石博士の講義
能登の自然を
学ぼう!

【赤石博士プロフィール】

珠洲市自然共生室の研究員。
能登の里山保全のため、
金沢大学や地元NPOと
研究・教育の連携事業を
推進。専門は里山のきのこ。
金沢大学大学院博士後期
課程修了。博士(理学)。



食べる

●里山里海食堂

へんざいもんで
昼食タイム!

へんざいもんとは、漢字では「辺採物」と書き、「家の周りで採れるもの」という意味で名付けられたそうです。地元食材のその季節に採れる旬のものを提供します



見る

●禄剛埼灯台(狼煙の灯台)

灯台見学と
記念撮影!

能登半島の最先端。丁度、外浦と内浦との接点にあたる。海から昇る朝日と、海に沈む夕陽が同じ場所で見られることで有名です。明治時代にイギリス人の設計で造られた白亜の禄剛埼灯台です
※灯台内は見学不可



触れる

●道の駅 すず塩田村

揚げ浜式塩作り
見学・体験

能登では、江戸時代以前より続く伝統ある揚げ浜式製塩が今も続けられています。塩田まで海水をくみ上げることから「揚げ浜式」と呼ばれる製塩法で、この見学や体験を行います。



※雨天時・荒天時の場合は、中止またはスケジュールが一部変更になる事がございます

応募要項

- 応募締切: 2014年8月3日(日)
- 参加人数: 20組(40名)
- 参加費: 親子(2名) 3,500円
- 応募資格: 親子ペア ※保護者の方が満20歳以上、お子様が小学生~中学生の方に限らせていただきます
- 集合場所: 金沢駅
- 応募方法: 北陸3県内アピタ・ピアゴ特設会場に設置してある「専用応募用紙」に必要事項を明記の上、各店所定の専用応募箱に投函して下さい
- 抽選・当選発表: 厳正なる抽選の上、当選者を決定します。なお、当選発表については「当選通知書」の発送を持って発表とさせていただきます